

第5回篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議を終え、提言書を取りまとめ、札幌市に提出！

6月から開催してきた「篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議」の最終回として、第5回の会議を平成30年11月26日(月)に開催しました。

今回は、最終のとりまとめとなる「提言書」の案について話し合いました。とりまとめた「提言書」は、平成30年12月18日(火)に、札幌市に提出されました。



「提言書」の概要

第1章 篠路駅東口駅前広場の在り方

◆駅前広場の機能と位置についての考え方

(1) 駅前広場において確保されるべき機能

- ①乗降機能：バス乗降スペース2台、タクシー乗降スペース2台、障がい者乗降スペース1台、自家乗降スペース1台を確保
- ②歩行空間：歩行者にやさしい歩行空間を確保
- ③交通空間：車両等の回転半径等を考慮して設定

(2) 篠路駅東口駅前広場の位置に関連する課題

駅前の軟石倉庫の価値を総合的にとらえ、篠路のアイデンティティとして残せるよう、駅前広場の位置は配慮することが望ましい。

◆整備方針

図のとおり、都市計画の変更を伴う、軟石倉庫に影響を与えない位置での駅前広場の整備が、篠路のまちづくりを考えるうえで最もふさわしく、地域住民の総意として提言する。



図：篠路駅東口駅前広場整備案（イメージ）

第2章 今後へ向けて

- (1) 篠路駅東口駅前広場周辺におけるまちづくり
 - ・駅前広場が明るくにぎわいのある場所となるまちづくりを目指す。軟石倉庫の魅力や価値を発信
- (2) 軟石倉庫との関わり
 - ・所有者の意向を尊重しながら、地域の資産は地域で守るという考え方のもと、今から考え、行動
- (3) 協働によるまちづくり
 - ・地域住民、事業者、行政等の関係者が協働で進めながら、地域でできるものは積極的に地域で担う

第3章 付帯意見

- ・安全性に配慮した駅前広場のレイアウト
- ・バス停への快適なアクセス、快適な待合環境
- ・松の木を残していく努力
- ・篠路出張所へのアクセス確保
- ・篠路駅東通と花畔札幌線の交差点の信号機設置
- ・災害に強いまちづくり
- ・建蔽率や容積率等の土地利用計画制度の運用

篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議の
詳しい内容については札幌市 HP
(<http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/shinoro/shinoro.html>) で公開しております。
是非ご覧ください！！



第5回会議の内容

多くの委員が、「これまで出た意見が網羅されており、提言書として十分な内容である」という意見でした。

その他、提言書がゴールではない中、地域住民として、今後の行動をどのように考えていくかなど意見交換を行いました。



「提言書」が都市計画担当局長に手交されました！

平成30年12月18日（火）、札幌市役所にて提言書の手交式が行われ、篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議の小澤委員長より、「提言書 篠路駅東口駅前広場の在り方について」が札幌市の中田都市計画担当局長に手交されました。



小澤委員長
(北海道大学大学院
工学研究院教授)



井形副委員長
(篠路地区街づくり
促進委員会会長)



現在の都市計画の変更を地域の総意として提言します。篠路のまちづくりがより一層進展しますよう、ご検討のほどお願いいたします。

提言書に謳われている地域の方々の思いがきちんと実現できるよう、スピード感を持って検討させていただきたい。

これから先、子どもたちが「篠路に住んでよかった」と思えるようなまちづくりができるよう、ともに力を尽くしていきたい。

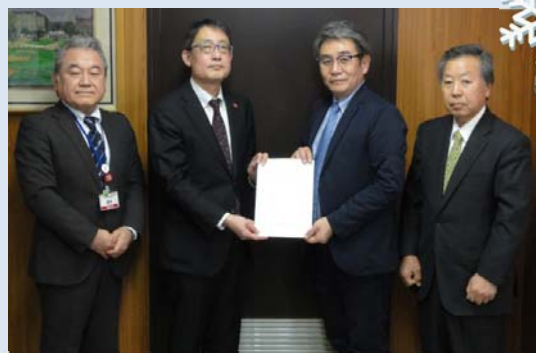


中田都市計画担当局長



平成30年6月から11月の約半年間、計5回開催された会議も一区切りとなりました。

提言書に謳われた思いを実現するため、地域、事業者など関係する方々とより一層協力しながら、まちづくりを進めて参ります！



(左より順に清水事業推進担当部長、中田都市計画担当局長、小澤委員長、井形副委員長)

お問い合わせ先



札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：森川・若林
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyou-suishin-kei@city.sapporo.jp



メールアドレスはQRコードから読み取れます！